ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650　2017.6.18　No. 2464

2016-2017 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

TAKEFU WEEKLY

Rotary Club of Takefu

創　立／1954年（昭和29年）6月30日　例会日／毎週火曜日　例会場／武生商工会館
事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内　会　長／京藤敏実　幹　事／三村昌之
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp　会報委員長／矢尾主成

第3049回 例会記録　平成29年6月13日(火)

本日出席会員41名
　メークアップ（前々回）7名
　出席率（前々回補正）77.59%
ロータリーソング「我等の生業」
ゲスト　㈱ふじや食品　藤田裕晃氏
ビジター　鯖江RC　岡本圭子氏

会員総数 60名

会長挨拶　第63代会長　京藤敏実

今月は“親睦活動月間”です。　RIの言うところの“親睦”はクラブで考える親睦とは違い、単にクラブに関してのみ限定されるものではなく、広く世界に友情と親交の輪を広げるための全ロータリアン対象のロータリー親睦活動のことを指しています。

このロータリー親睦活動によって、会員は生涯にわたる友情を築くだけでなく、自らの関心を保ち、活動への意欲を一層高めながらロータリーに積極的に関わっていくことができます。スポーツ、趣味、職業上の関心をはじめ、幅広い職業や趣味を網羅したロータリー親睦活動は100団体近くにのぼり、数多くの親睦グループ・メンバーが自らの趣味や技能を生かして他の人々への奉仕を行っています。

例えば、カヌーを楽しむロータリアンの国際親睦グループは汚染された川の清掃を行っています。コンピューター・ユーザーであるロータリアンの国際親睦グループは電子メディアの使い方についてロータリアンや地元の人々のために研修会を行っています。また「ジッパー・クラブ」と名乗る心臓疾患を克服したロータリアンの国際親睦グループ・メンバーは、心臓疾患を持つ恵まれない子供たちの命を救う手術を提供しています。

このように、趣味・職業上の技術を活かし世界で親睦を深めつつ、奉仕活動に取り組んでいる多くのロータリアンが世界にいます。来週は、例会を繰り上げて18日（日曜日）に芦原温泉灰屋で最終例会を行います。現在32名の参加申し込みがありますが、まだ間に合いますので、都合のつく方は今からでもご参加下さい。

プログラム

RYLA報告

㈱ふじや食品　藤田裕晃氏

今年のRYLAのテーマは「日本人の心と精神」でした。8班に分かれての行動。私は5班として行動しました。主な内容としまして、事前課題本、境野先生の書かれた「日本のこころの教育」。山折哲雄先生と志道不二子先生、お二人の先生の講演の受講。そして永平寺での体験というものでした。今回のご報告も、この４つについてお話します。

【①日本のこころの教育について】

まずは課題本の「日本のこころの教育」について。私たちの班で話し合いまとめた内容をお伝えします。

著者の国語教師だった境野先生がある時、聞かれたさようならの意味は？からはじまった日本人っていったい何なのか、というお話。高校生への講演の講演録です。読んで一番印象に残ったものについての感想文が課題だったのですが、みんなで持ち寄り、出てきたものをまとめるとこのような内容でした。

太陽と共に生き、感謝する国、国民。さようなら、こんにちは。実は太陽と関係のある言葉だった。お父さん、お母さん。実は太陽という意味だった。身近な言葉に対する発見。国旗や国歌について。君が代は9世紀に詠まれた恋のうただった。

じゃあこういった日本のこと知ったらどうしよう。日本のことを知って、誇りを持って生きよう。本では自分の心棒を持つと表現されていました。外を知るのも大事ですが、まずは自分のいる場所をちゃんと知ろう。そしてその誇れる文化、歴史を次の世代へと渡していこう。

【②山折哲雄先生講話について】

山折哲雄先生は宗教史、思想史を専攻された方です。まずは第一感想。本当に難しい内容でした。

テーマは「聴く、語る、沈黙する」沈黙する、というのは思考する、考えるという意味とのことです。

棟方志功（版画家）、土門拳（写真家）強烈な個性をもっていた二人の芸術家のお話だったのですが、特に感銘を受けた棟方志功さんについてのお話についてまとめさせていただきます。日本の美人像を変えた。浮世絵などを見ても昔の美人というのは細目だった。これが昭和に入り、現代になると、ぱっちりお目々、大きい目の美人が多い！何世紀も続いたものを変えたのは棟方さんの影響はかなり大きいとのこと。

じゃあどこにそんなエネルギーがあったのか。棟方さんはゴッホの絵をみて、ワだばゴッホさなる。そういって東北を飛び出したそうです。師匠を持たなかった。まわりに勧められても誰かに教わることはしなかった。誰かに教わっていてはその人のまねごとにしかならない。ゴッホも我流だったのだ。そういってお世話になった人も恩人とは言うけど師であったとは絶対言わなかった。

ヴェネチアヴィエンナーレでグランプリを受賞している代表作「二菩薩釈迦十大弟子」について見ても、実はこれお釈迦様は描かれていないんです。山折先生も直接聞いたわけではないけど、恐らくスポットを当てたかったのはひとりひとりの個性。その美しさを表現したかったんじゃないかな、とのことでした。

このことについて禅宗のひとつ、臨済宗の開祖臨済のことば。禅問答のひとつだと思うのですが、仏に逢うては仏を殺せ。最後に降壇されるまえにひとこと、若い方たちにお伝えしたかった。そうおっしゃられていました。

【③永平寺での体験について】

2日目午後行った永平寺の体験についてです。永平寺は禅宗の一派。曹洞宗の大本山です。先ほどの禅問答を行う臨済宗とは違って、座禅に重きを置いている宗派です。

実際に座禅を体験させていただきました、また食事も修行のひとつとしていて、昼食には精進料理を頂きました。命を頂きながら自分たちは生きている。食材との一期一会に感謝すること。ひとつひとつを味わって食する。それぞれに個性を見出す。体験から学びました。

特に説明はされず、新聞で見た内容なんですが、永平寺の門前。今工事中なんです。重機がどこどこ動いてて、寺っぽくないなーなんて思っていましたが、どんな工事かといえば宿泊施設の建設。お寺がですよ!? 70人が座禅を体験できる設備もあるそうです。いったいなにをしようとしているのか、禅の心を広く伝える。次世代に伝える。その動きだったんです。

【④志道不二子先生講話について】

話がおもしろかったんです。あとで班員に誰か写真とってないか聞いたら、話に聞き入ってしまって誰も写真をとっていなかった。

志道先生はアドラー心理学のカウンセラーであり、オンリーワン幼稚舎をはじめ保育園など経営する方です。常に着物でいる。そのことについてこうお話されていました。「日本で着物はもともと普段着だった。特別なものじゃない。」こうすることで着物という文化を幼児達が知れる。

アドラー心理学の良いと思ったものは実践する、それを実践しているそうです。志道先生が経営しているオンリーワン幼稚舎についても紹介されていました。幼児が論語を素読できる。日本の美しいもの。日本の文化。日本人として日本を誇りにもてる。そういった教育をされているんだ。そう感じました。

歴史、文化を次の世代へと伝える。そんな使命をもって実際に行動している方なのだと感じました。

（以降略）

ニコニコ箱 …… 50,000円　累計 1,263,900円

例会変更情報／福井県内ビジター受付（6月19日～6月30日）

6月19日	福井東RC	12:00～12:30	アオッサ1階入口
6月22日	福井水仙RC	18:00～18:30	福井パレスホテル
6月29日	福井RC	12:00～12:30	ﾕｱｰｽﾞﾎﾃﾙﾌｸｲ1階ﾌﾛﾝﾄ
6月30日	福井あじさいRC	12:00～12:30	ホテルリバージュアケボノ
6月30日	三国RC	12:00～12:30	三国観光ホテルフロント
6月30日	福井西RC	12:00～12:30	バードグリーンホテル

＊変更の無い各クラブの定例例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日（6月18日）の例会	6月27日	7月4日	7月11日
最終例会 場所：芦原温泉 灰屋	休　会	第一例会行事 新年度挨拶	決算報告 監査報告 予算発表